



新風会
本田 順也
議員

▼ジオパーク国際ユネスコ会議並びにネット通信について

Q ジオパーク国際ユネスコ会議とはどのような会議なのか。

A 世界ジオパークに加盟している二十一个国家六十六地域を初め、今後世界ジオパークネットワークへの加盟を望む国や地域の関係者が一堂に会し、ジオパークの理念や取り組み例を共有し、ネットワークとしてのジオパークの活動をより推進させるために、二年に一度開催されている。マレーシアのランカウイ島で開催された第四回ジオパーク国際ユネスコ会議には、二十七カ国、四百二十三人が参加し、分科会などで活発な意見交換がなされた。

Q 国際会議に必要な通信網の整備は整っているのか。

A 島原復興アリーナには、火山都市国際会議で使用した光ファイバーケーブルの配線が残っているため、次回開催の国際会議にも活用できると思っているが、規模が大きくなれば、整備が必要だと考えている。

▼グループ制、部制導入の効果について

Q グループ制導入に対して、市民から何か意見や要望は寄せられていないか。

A なれ親しんだ名称の変更に対する抵抗感からか、「わかりづらい」、「呼びにくい」などの意見があった。

Q 部制により仕事の効率化は図られたか。

A 導入後二カ月余りと日が浅く、十分な検証はできていないが、各部ごとの状況調査や職員アンケートを行い、その実態を把握、検証の上、グループ制本来の機能を十分発揮できるよう努めたい。

▼選挙の投票時間について

Q 南島原市で行われた市長、市議選で投票時間を短縮したようだが、本市も短縮すべきではないか。

A 投票所の閉鎖時間を繰り上げすることは、有権者の権利を奪うことにならないような配慮が必要のため、市民皆様の意見を拝聴しながら慎重に検討すべきと考えている。

【その他の質問項目】

◇競争入札制度について

◇観光行政について



政策研究会
松坂 昌應
議員

▼日々流出している排水門からの汚泥の影響

Q 調整池の水位をマイナスメートルに保つ意味は何か。

A 洪水時に標高の低い背後地から雨水を速やかに調整池に流すことが可能となり、一時的に雨水を貯水できることで周辺地域の防災効果が発揮されることである。

Q 開門は常時行われているのか。また、その回数はどのくらいか。

A 干潮時には排水がされ、二十年度では南部排水門が八十五回、北部排水門が六十一回開門されているようである。

Q 調整池の中に海水を入れたら、防災上の効果に影響があるか。

A 防災の面では、調整池の水位をマイナスメートルに保つことに効果があり、海水を入れることにより効果がないとは一概に言えないと思う。

▼浄化槽協会の検査に意味があるのか

Q 浄化槽を設置している市民は、専門業者の保守点検が義務づけられ、浄化槽はきれいな状態に保たれている。なぜ約六千円も払って浄化槽協会の検査を年一回受ける必要があるのか。二重払いではないのか。

A 浄化槽協会は保守点検業者と違い、水質検査を行っている。

Q 県内の浄化槽点検の検査率と、検査を受けない場合はどうなるのか。正直者が損をしていないか。

A 浄化槽協会の検査は浄化槽法に義務付けられており、検査率は約八十%となっている。検査を受けない場合は、保健所による立入検査などが行われるようになる。

▼車がない人も役所や公共施設を利用できるか

Q まちの中に溶け込んだ庁舎を利用するには公共交通が必要だが、今後、市としては公共交通の比重はどうするのか。

A 昨年度、市内中心部と有明地区で実証運行を行ったが、本年度も引き続き実証運行を実施する予定である。その検証結果等を踏まえ、今後の程度の需要が見込まれるのかなど十分把握し、慎重に検討したい。